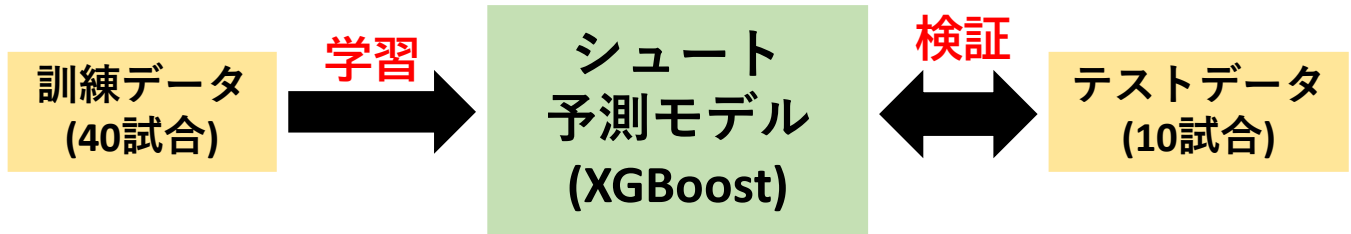


# スポーツデータサイエンス

広島市立大学情報科学研究科 知能工学専攻 データ科学講座

サッカーJ1リーグの試合における、選手たちの展開するプレー系列のデータ解析を行った。

## シュート予測モデルの構築

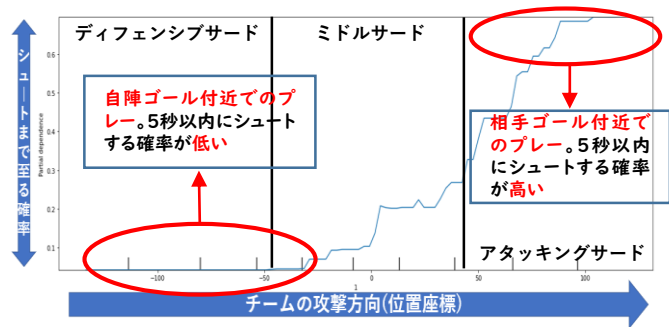


### 解析テーマ①

シュートの前触れとなるプレーの特徴とは？

### 解析結果

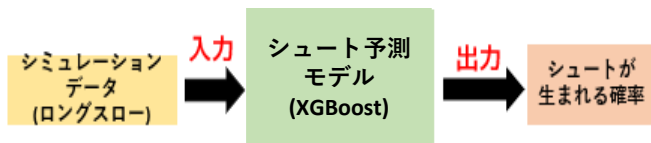
シュートの前触れとなるプレーの特徴として最も重要なのは、プレー位置である。プレー位置が**敵陣ゴールラインから35メートル以内**となることをトリガーとしてシュートへの動きが始まる。



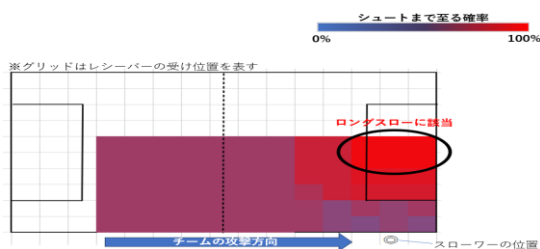
### 解析テーマ②

ロングスローは攻撃に有効か？

### 解析手法



### レシーバーの位置とシュート確率



### 解析結果

一般的なスローインに成功した場合と比較して、

- (1)ロングスローに成功した場合、約40~50%ほどシュートが生まれる確率が高くなる
- (2)ロングスローに失敗した場合でも、シュートの生まれる確率は同程度

**ロングスローは攻撃に有効！**

**謝辞** 今回使用したデータは、データスタジアム株式会社から提供されました。また、情報・システム研究機構統計数理研究所医療健康データ科学研究センターの支援を受けました。記して感謝します。